

土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領 【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事(ICT舗装工(路盤))【受注者希望型】」(以下、「ICT舗装工(路盤)」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT舗装工(路盤)</p> <p>第3条 とは、以下に示す施工プロセス(①~⑥)においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <u>その他の3次元計測技術による</u></p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ ICT建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1) ~2) に示す技術(ICT建設機械)により施工を実施する。</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p>1) 3次元マシンコントロール(モーターグレーダ)技術</p> <p>2) 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術</p> <p>④</p>	<p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工)の試行要領 【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事(ICT舗装工)【受注者希望型】」(以下、「ICT舗装工」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT舗装工とは、以下に示す施工プロセス(①~⑤)においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~4) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>3) TS等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) TS(ノンプリズム方式)を用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ ICT建設機械による施工</p> <p>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示すICT建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則(令和7年3月31日 国土交通省告示第240号)付録1測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3次元MC建設機械</p> <p>※MC:「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> <p>但し、現場条件により、ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事(I C T 舗装工(路盤))の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成 <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u> (追加) (追加)</p> <p><出来形管理> <u>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u> (追加)</p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 2) <u>その他の3次元計測技術による出来形管理技術</u> <u>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</u> (追加)</p> <p>出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、<u>監督員との協議の上、従来手法での出来形管理を行ってもよい。</u></p> <p>⑤出来形確認及び検査 <u>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u></p> <p>⑥納品 ①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 舗装工(路盤)の実施にあたり、施工プロセス (①～⑥) のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。 なお、プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則</p>	<p>督職員との協議の上、部分的に従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。 ④ 3次元出来形管理等の施工管理 (削除)</p> <p>③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。 <出来形管理> (削除)</p> <p>(1) 出来形管理出来形管理にあたっては、出来形管理図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理手法(面管理)とし、以下1)～2)から選択(複数以上可)して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下(1点/m²以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。(ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) T S 等光波方式を用いた出来形管理 4) T S (ノンプリズム方式)を用いた出来形管理</p> <p>また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、<u>監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもI C T活用工事とする。</u></p> <p>⑤ (削除)</p> <p>納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T 舗装工の実施にあたり、施工プロセス (①～⑤) のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。 なお、プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																		
<p>複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3 総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第2条に示す全ての施工プロセス（①～④）において I C T を活用する場合に限る。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第4条 I C T 補装工(路盤)は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T 活用工事（I C T 補装工(路盤)）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p>	<p>複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3 総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第2条に示す全ての施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する場合に限る。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第3条 I C T 補装工は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T 活用工事（I C T 補装工）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p>																		
表1 I C T 補装工(路盤)の対象工種種別 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工事区分</th><th style="text-align: center;">工種</th><th style="text-align: center;">種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">・舗装工 ・水門</td><td style="text-align: center;">舗装工</td><td style="text-align: center;">・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td style="text-align: center;">付帯道路工</td><td style="text-align: center;">・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工</td></tr> </tbody> </table>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工	表1 I C T 補装工の対象工種種別 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工事区分</th><th style="text-align: center;">工種</th><th style="text-align: center;">種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">・舗装工 ・水門</td><td style="text-align: center;">舗装工</td><td style="text-align: center;">・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td style="text-align: center;">付帯道路工</td><td style="text-align: center;">・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工</td></tr> </tbody> </table>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工																	
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工 ・コンクリート舗装工																	
<p>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第5条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第6条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 補装工(路盤)の対象とすることを明示するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。</p> <p>(I C T 活用工事の実施手続)</p> <p>第7条 I C T 補装工(路盤)の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、I C T 補装工(路盤)を実施することができる。</p> <p>2 I C T 補装工(路盤)として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができます。</p> <p>(設計変更)</p>	<p>2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第5条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行対象工事の発注に当たり、入札公告に I C T 補装工の対象とすることを明示するとともに、特記仕様書を添付し、発注手続きを行うこととする。</p> <p>(I C T 活用工事の実施手續)</p> <p>第6条 I C T 補装工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（I C T 活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、I C T 補装工を実施することができる。</p> <p>2 I C T 補装工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができます。</p> <p>(設計変更)</p>																		

土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定														
<p>第8条 発注者は、ICT舗装工(路盤)の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、ICT施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第9条 ICT舗装工(路盤)を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。 なお、施工プロセスを選択して実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p style="text-align: right;">(追加)</p>	<p>第7条 発注者は、ICT舗装工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、ICT施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第8条 ICT舗装工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。 なお、施工プロセスを選択して実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p style="color: red;">(アンケート調査)</p> <p>第9条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> <p>(監督・検査)</p> <p>第10条 ICT舗装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表2「ICT舗装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</p> <p style="text-align: right;">(削除)</p>														
<p>表2—ICT舗装工(路盤)に関する基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">工 施</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle; text-align: center;">検 査</td> <td>2</td> <td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>T-S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>T-S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(追加)</p> <p style="text-align: right;">(追加)</p>	工 施	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編	検 査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)	3	T-S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)	4	T-S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)			<p>※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省HPより） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p>
工 施	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編													
検 査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)													
	3	T-S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)													
	4	T-S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)													
	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)													
<p>附 則</p> <p>この要領は、平成30年8月1日から施行する。</p> <p>平成31年3月29日改定（平成31年4月1日適用）</p> <p>令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用）</p> <p>令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用）</p> <p>令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用）</p> <p>令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用）</p> <p>令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用）</p>	<p>附 則</p> <p>この要領は、平成30年8月1日から施行する。</p> <p>平成31年3月29日改定（平成31年4月1日適用）</p> <p>令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用）</p> <p>令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用）</p> <p>令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用）</p> <p>令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用）</p> <p>令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用）</p> <p style="color: red;">令和7年9月30日改定（令和7年10月1日適用）</p>														

土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領 【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事(ICT舗装工(路盤))【発注者指定型】」(以下、「ICT舗装工(路盤)」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT舗装工(路盤)とは、以下に示す全ての施工プロセス (①～⑥)においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～2)の方法により3次元測量データを取得するためには測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量 2) <u>その他の3次元計測技術による</u> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> ③ ICT建設機械による施工 <p><u>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1)～2)に示す技術(ICT建設機械)により施工を実施する。</u></p> <p>(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) <u>3次元マシンコントロール(モーターグレーダ)技術</u> 2) <u>3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術</u> ④ 	<p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工)の試行要領 【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事(ICT舗装)【発注者指定型】」(以下、「ICT舗装」という。)を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT舗装とは、以下に示す全ての施工プロセス (①～⑤)においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～4)の方法により3次元測量データを取得するためには測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量 2) <u>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</u> 3) TS等光波方式を用いた起工測量 4) TS(ノンプリズム方式)を用いた起工測量 ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> ③ ICT建設機械による施工 <p><u>②で作成した3次元設計データを用い、以下1)に示すICT建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</u></p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則(令和7年3月31日 国土交通省告示第240号)付録1測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3次元MC建設機械 <p>※MC:「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> ④ <u>但し、現場条件により、ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</u>

土木部発注工事における I C T 活用工事(I C T 舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成 <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u> (追加) (追加)</p> <p><出来形管理> <u>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u> (追加)</p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 2) <u>その他の3次元計測技術による出来形管理技術</u> <u>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</u> (追加)</p> <p>出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、<u>監督員との協議の上、従来手法での出来形管理を行ってもよい。</u></p> <p>⑤出来形確認及び検査 <u>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u></p> <p>⑥納品 ①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>(対象とする工事) 第3条 I C T 舗装工(路盤)の試行対象工事は、各発注機関が選定する。 2 選定にあたっては、舗装面積(路盤工)2,000m²以上の下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>	<p>督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。 ④3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。 <出来形管理></p> <p>(削除)</p> <p>(1) 出来形管理出来形管理にあたっては、出来形管理図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理手法(面管理)とし、以下1)～2)から選択(複数以上可)して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下(1点/m²以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。(ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) TS等光波方式を用いた出来形管理 4) TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理</p> <p>また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、<u>監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもI C T活用工事とする。</u></p> <p>⑤</p> <p>(削除)</p> <p>納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>(対象とする工事) 第3条 I C T 舗装工は、舗装面積(路盤工)2,000m²以上の下記工種を含む発注工事を対象とする。</p>

土木部発注工事における I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定																		
<p>表1 I C T 補装工(路盤)の対象工種種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr> <tr> <td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工</td></tr> </tbody> </table> <p>3 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第5条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。</p> <p>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 補装工(路盤)であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</p> <p>(設計変更)</p> <p>第6条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第7条 I C T 補装工(路盤)を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点の加点評価するものとする。 なお、監督員との協議の上、出来形管理を従来手法で実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p style="text-align: center;">(追加) (追加)</p> <p>(監督・検査)</p> <p>第8条 I C T 補装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表2「I C T 補装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</p>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工	<p>表1 I C T 補装工の対象工種種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工事区分</th><th>工種</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・舗装工 ・水門</td><td>舗装工</td><td>・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工</td></tr> <tr> <td>・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤</td><td>付帯道路工</td><td>・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工</td></tr> </tbody> </table> <p>3 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第5条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。</p> <p>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 補装工(であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</p> <p>(設計変更)</p> <p>第6条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第7条 I C T 補装工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点の加点評価するものとする。 なお、監督員との協議の上、出来形管理を従来手法で実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p style="color: red;">(アンケート調査)</p> <p style="color: red;">第8条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> <p>(監督・検査)</p> <p style="color: red;">第8条 I C T 補装工を実施した場合の対象工種の監督・検査については、以下の国土交通省が定める関連要領等の令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</p>	工事区分	工種	種別	・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工	・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工																	
工事区分	工種	種別																	
・舗装工 ・水門	舗装工	・アスファルト舗装工 ・半たわみ性舗装工																	
・築堤護岸 ・堤防護岸 ・砂防堰堤	付帯道路工	・排水性舗装工 ・透水性舗装工 ・グースアスファルト舗装工・コンクリート舗装工																	

土木部発注工事におけるICT活用工事(ICT舗装工(路盤))の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

現 行		改 定						
表2—ICT舗装工(路盤)に関する基準		(削除)						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">二 施</td><td style="width: 10%;">1 <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編</u></td></tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top; width: 10%;">検 査</td><td>2 <u>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)</u></td></tr> <tr><td>3 <u>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u></td></tr> <tr><td>4 <u>T S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u></td></tr> <tr><td>5 <u>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u></td></tr> </table>		二 施	1 <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編</u>	検 査	2 <u>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)</u>	3 <u>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>	4 <u>T S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>	5 <u>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>
二 施	1 <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編</u>							
検 査	2 <u>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)(案)</u>							
	3 <u>T S等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>							
	4 <u>T S(ノンプリ)を用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>							
	5 <u>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領(舗装工事編)</u>							
	(追加)		※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省HPより） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html					
(追加)								
附 則		附 則						
<p>この要領は、平成30年8月1日から施行する。 令和31年3月29日改定（平成31年4月1日適用） 令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用） 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用） (追加)</p>		<p>この要領は、平成30年8月1日から施行する。 令和31年3月29日改定（平成31年4月1日適用） 令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用） 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用） 令和7年9月30日改定（令和7年10月1日適用）</p>						

I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p style="text-align: center;">I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))」(以下、「I C T 補装工(路盤)」という)の対象とすることができます。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1-1 I C T 補装工(路盤)とは、以下に示す施工プロセス (①~⑥)において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~ 2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<u>なお、その際は監督職員と協議すること。</u></p> <p>1)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <u>その他の3次元計測技術による</u></p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1) ~ 2) に示す技術(I C T 建設機械)により施工を実施する。</p> <p>1) 3次元マシンコントロール(<u>モーターグレーダ</u>)技術</p> <p>2) 3次元マシンコントロール(<u>ブルドーザ</u>)技術</p> <p>④</p> <p>(追加)</p> <p>3次元出来形管理資料等の作成</p>	<p style="text-align: center;">I C T 活用工事(I C T 補装工)に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事(I C T 補装工)」(以下、「I C T 補装工」という)の対象とすることができます。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1-1 I C T 補装工とは、以下に示す施工プロセス (①~⑤)において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~ 8) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 空中写真測量(無人航空機)による起工測量</p> <p>2) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>3) T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S(ノンプリズム方式)を用いた起工測量</p> <p>5) R T K-G N S S を用いた起工測量</p> <p>6) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>7) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</p> <p>8) 音響測深機器を用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1) ~ 4) に示す技術(I C T 建設機械)により施工を実施する。</p> <p>1) 3次元マシンコントロール(<u>ブルドーザ</u>)技術</p> <p>2) 3次元マシンコントロール(<u>バックホウ</u>)技術</p> <p>3) 3次元マシンガイダンス(<u>ブルドーザ</u>)技術</p> <p>4) 3次元マシンガイダンス(<u>バックホウ</u>)技術</p> <p>※現場条件により、③ I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は発注者との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとし、その場合も I C T 活用工事とするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p>

ICT活用工事(ICT舗装工(路盤))に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>③により施工された工事完成物について、ICTを活用して施工管理を実施する。</p> <p>＜</p> <p>出来形管理＞</p> <p>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術</p> <p>2) その他の3次元計測技術による出来形管理技術</p> <p>なお、表層については、面管理を実施するものとするが</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、従来手法での出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤出来形確認及び検査</p> <p>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</p> <p>⑥</p> <p>(追加)</p>	<p>③による工事の施工管理において、以下(1)(2)に示す方法により、出来形管理及び品質管理を実施する。</p> <p>(1) 出来形管理</p> <p>(削除)</p> <p>出来形管理にあたっては、出来形管理図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理手法(面管理)とし、以下1)～4)から選択(複数選択可)して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下(1点/m²以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ボイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>また、土工における出来形管理にあたっては、以下1)～4)を原則とするが、現場条件等により以下5)～9)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。(ただし5)～9)の出来形管理を選択して面管理を実施した場合は「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)</p> <p>1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理</p> <p>2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>5) TS等光波方式を用いた出来形管理</p> <p>6) TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理</p> <p>7) RTK-GNSSを用いた出来形管理</p> <p>8) 施工履歴データを用いた出来形管理</p> <p>9) 音響測深機器を用いた出来形管理</p> <p>なお、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、発注者との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもICT活用工事とする。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(2) 品質管理</p> <p>品質管理にあたっては、受注者は、土工の品質管理(締固め度)について、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」により実施する。砂置換法又はRI計法との併用による二重管理は実施しないものとする。</p>

I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定
(追加)	なお、本施工着手前及び盛土材料の土質が変わるごと、また、路体と路床のように品質管理基準が異なる場合に試験施工を行い、本施工で採用する締固め回数を設定すること。 土質が頻繁に変わりその都度試験施工を行うことが非効率である等、施工規定による管理そのものがなじまない場合は、発注者と協議の上、T S・G N S S を用いた締固め回数管理を適用しなくてもよいものし、その場合も I C T 活用工事とする。
(追加)	
納品	⑤納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。
1－2 受注者は I C T 補装工(路盤)を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までに I C T 活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、I C T 補装工(路盤)を行うことができる。	1－2 受注者は I C T 補装工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までに I C T 活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、I C T 補装工を行うことができる。
1－3 1－1 施工プロセスに示す①～⑥について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。 なお、受注者は施工プロセス(①～⑥)のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。	1－3 1－1 施工プロセスに示す①～⑤について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。 なお、受注者は施工プロセス(①～⑤)のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③ I C T 建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。
1－4 受注者は、付帯構造物設置工に I C T 活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い。協議が整った場合に I C T 活用工事を実施することができる。	1－4 受注者は、付帯構造物設置工に I C T 活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い。協議が整った場合に I C T 活用工事を実施することができる。
1－5 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。	1－5 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。
1－6 施工に必要な I C T 補装工(路盤)用のデータは、受注者が作成するものとする。	1－6 施工に必要な I C T 補装工用のデータは、受注者が作成するものとする。
1－7 I C T 補装工(路盤)に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員との協議の上、設計変更の対象とする。	1－7 I C T 補装工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員との協議の上、設計変更の対象とする。
1－8 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。	1－8 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。
1－9 I C T 補装工(路盤)を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。	1－9 I C T 補装工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。

I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

現 行	改 定																
<p>第2 監督・検査について I C T 補装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T 補装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。</p> <p style="text-align: center;"><u>表1 I C T 補装工(路盤)に関する基準</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">施工</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle; text-align: center;">検査</td> <td>2</td> <td>地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(追加)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(追加)</td> </tr> </table>	施工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編	検査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）	3	T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）	4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）		(追加)		(追加)	<p>第2 監督・検査について I C T 補装工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</p> <p style="text-align: right;">(削除)</p>
施工	1	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編															
検査	2	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）															
	3	T S 等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）															
	4	T S（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）															
	5	地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）															
		(追加)															
	(追加)																
<p>第3 納品について 国土交通省が定めた「I C T 補装工(路盤)に関する基準」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。 なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p>	<p>※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p> <p>第3 納品について 国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。 なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p>																
<p>第4 アンケート調査について 受注者は、I C T 補装工(路盤)を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p>	<p>第4 アンケート調査について 受注者は、I C T 補装工を実施した場合、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p>																

I C T 活用工事(I C T 舗装工(路盤))に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p style="text-align: center;">I C T 活用工事(I C T 舗装工<u>(路盤)</u>)に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T 活用工事(I C T 舗装工<u>(路盤)(路盤)</u>」という)である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1-1 I C T 舗装工<u>(路盤)</u>とは、以下に示す全ての施工プロセス (①~⑥) において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~ 2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<u>なお、その際は監督職員と協議すること。</u></p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <u>その他の3次元計測技術による</u> (追加)</p> <p>起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1) ~ 2) に示す技術(I C T 建設機械)により施工を実施する。</p> <p>(追加)</p> <p>1) 3次元 マシンコントロール(モーターグレーダ)技術 2) 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術</p> <p>④</p>	<p style="text-align: center;">I C T 活用工事(I C T 舗装工)に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T 活用工事(I C T 舗装工)」(以下、「I C T 舗装工」という)である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1-1 I C T 舗装工とは、以下に示す全ての施工プロセス (①~⑤) において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1) ~ 4) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる起工測量</p> <p>2) <u>地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量</u></p> <p>3) T S 等光波方式を用いた起工測量</p> <p>4) T S (ノンプリズム方式) を用いた起工測量</p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示す I C T 建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則(令和7年3月31日 国土交通省告示第240号)付録1測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3次元MC建設機械</p> <p>※MC: 「マシンコントロール」の略称</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。</p> <p>但し、現場条件により、I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監</p>

I C T 活用工事(I C T 舗装工(路盤))に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>3次元出来形管理資料等の作成 <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u> (追加)</p> <p><出来形管理> <u>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行ふものとする。</u></p> <p>(追加)</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 2) その他の3次元計測技術による出来形管理技術 <u>なお、表層については、面管理を実施するものとする</u> (追加)</p> <p>、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、従来手法での出来形管理を行ってもよい。</p> <p>⑤出来形確認及び検査 <u>トータルステーション等を用いて、現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u></p> <p>⑥納品 ①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 受注者は、付帯構造物設置工にI C T活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い、協議を整った場合にI C T活用工事を実施することができる。</p>	<p>督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。</p> <p>④3次元出来形管理等の施工管理 ③による工事の施工管理において、以下に示す方法により、出来形管理を実施する。</p> <p><出来形管理> (1) 出来形管理 出来形管理にあたっては、出来形管理図表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理手法（面管理）とし、以下1)～2)から選択（複数以上可）して実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下（1点/m²以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。 また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)～2)を原則とするが、現場条件等により以下3)～4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。（ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること）</p> <p>1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3) T S等光波方式を用いた出来形管理 4) T S（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 また、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員との協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもI C T活用工事とする。</p> <p>⑤納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 受注者は、付帯構造物設置工にI C T活用工事を行う希望がある場合、契約後、施工計画書を提出するまでに監督員へ提案・協議を行い、協議を整った場合にI C T活用工事を実施することができる。</p>

I C T 活用工事(I C T 補装工(路盤))に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定										
1-4 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。	1-4 施工を実施するために使用する I C T 機器類は、受注者が調達するものとする。										
1-5 施工に必要な I C T 補装(路盤)工用のデータは受注者が作成するものとする。	1-5 施工に必要な I C T 補装工用のデータは受注者が作成するものとする。										
1-6 I C T 補装工(路盤)に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。 また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。	1-6 I C T 補装工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。また、I C T 付帯構造物設置工の実施に伴う経費についても、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。										
1-7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。	1-7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。										
1-8 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。	1-8 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。										
第2 監督・検査について	第2 監督・検査について										
I C T 補装工(路盤)を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T 補装工(路盤)に関する基準」により行うものとする。	I C T 補装工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。										
表1 I C T 補装工(路盤)に関する基準	(削除)										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; padding: 5px; vertical-align: top;">施工</td> <td style="width: 90%; padding: 5px;">1 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;">検査</td> <td style="padding: 5px;">2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"></td> <td style="padding: 5px;">3 TLS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"></td> <td style="padding: 5px;">4 TLS（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"></td> <td style="padding: 5px;">5 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）</td> </tr> </table>	施工	1 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編	検査	2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）		3 TLS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）		4 TLS（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）		5 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）	(追加)
施工	1 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）補装工編										
検査	2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）（案）										
	3 TLS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）										
	4 TLS（ノンプリ）を用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）										
	5 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理の監督・検査要領（補装工事編）										
(追加)	※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省HPより）										
	https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html										
第3 納品について	第3 納品について										
国土交通省が定めた「I C T 補装工(路盤)に関する基準」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。 なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。	国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針(案)」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。 なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。										
第4 アンケート調査について	第4 アンケート調査について										
受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。	受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。										

I C T 活用工事(I C T 補装工路盤)に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第5 現場見学会の実施について I C T 活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p>	<p>第5 現場見学会の実施について I C T 活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p>

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行				改 定			
				平成〇年〇月〇日 工 事 名 : ○○○○○○工事 受注会社名 : ○○○建設(株)			
I C T 活用工事計画書							
<p>当該工事において活用する技術について、「採用する技術番号」欄に該当建設生産プロセスの作業内容ごとに採用する技術番号を記載する。また、建設生産プロセスの各段階において、現場条件により I C T による施工が適当でない箇所を除く施工範囲の全てで活用する場合は、左端のチェック欄に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入する。</p>							
建設生産プロセスの段階		作業内容		採用する技術番号		技術番号・技術名	
<input type="checkbox"/> ①3次元起工測量		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		1 空中写真測量(無人航空機)による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量	
<input type="checkbox"/> ②3次元設計用データ作成		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。	
<input type="checkbox"/> ③I C T建設機械による施工 ※当該工事に含まれる右記作業の全てで活用する場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入		<input type="checkbox"/> 挖削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 路床盛土工 <input type="checkbox"/> 法面整形工 <input type="checkbox"/> 作業土工(床盤) <input type="checkbox"/> 路床安定処理工 <input type="checkbox"/> 表層安定処理工 <input type="checkbox"/> 固結工 <input type="checkbox"/> 路盤工 <input type="checkbox"/> 切削オペレータ工		<input type="checkbox"/>		1 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術 2 3次元マシンコントロール(バックホウ)技術 3 3次元マシングайданс(ブルドーザ)技術 4 3次元マシングайданс(バックホウ)技術 5 3次元マシンコントロール(モーターグレーダ)技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム	
<input type="checkbox"/> ④3次元出来形管理資料の作成 ※同上		<input type="checkbox"/> 出来形 <input type="checkbox"/> 品質		<input checked="" type="checkbox"/>		1 空中写真測量(無人航空機)による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術 TS・GNSSによる締め固め回数管理技術	
<input type="checkbox"/> ⑤納品							
<p>注 1) I C T 活用工事の詳細については、特記仕様書によるものとする。</p>							
<div style="border: 2px solid red; width: fit-content; margin: auto; text-align: center; padding: 5px;">削除</div>							

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
	<p style="text-align: right;">(令和7年10月～)</p> <p style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書 一覧表</p> <p style="text-align: center;">各工種をクリックすると、該当するシートに説明があります</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><thead><tr><th style="text-align: left; padding: 2px;">番号</th><th style="text-align: left; padding: 2px;">工 種</th></tr></thead><tbody><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">1</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">土工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">2</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">舗装工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">3</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">舗装工(修理)</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">4</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">河川浚渫工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">5</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">地盤改良工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">6</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">防護工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">7</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">構造物工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">8</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">作業土工(床面工)</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">9</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">付帯施設工</td></tr></tbody></table>	番号	工 種	1	土工	2	舗装工	3	舗装工(修理)	4	河川浚渫工	5	地盤改良工	6	防護工	7	構造物工	8	作業土工(床面工)	9	付帯施設工
番号	工 種																				
1	土工																				
2	舗装工																				
3	舗装工(修理)																				
4	河川浚渫工																				
5	地盤改良工																				
6	防護工																				
7	構造物工																				
8	作業土工(床面工)																				
9	付帯施設工																				

ICT活用工事計画書 新旧対照表

ICT活用工事計画書 新旧対照表

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定											
<p style="text-align: right;">(年月日～)</p> <p style="text-align: center;">I C T活用工事 協議書(地盤改良工)</p> <p style="text-align: center;">(会員名:○○○○株式会社) 会社名:○○○○株式会社</p> <p>本上記における協議内容を以下に、「現行する技術手順」に於ける既存手法との適用検討結果についてのデータと、検討を記載する。</p> <p>また、各の手順ノミクスの各技術について、現行条件は現CIIによる者が適用できない場合と検討結果にて適用可能な場合のチェック欄に、記入を入れる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現 行 手 順</td><td style="width: 85%;">現 行 手 順</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ CTG技術実験調査</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地下等高測量(個人成空探針)を用いた成空調査 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地上部地盤改良用リードヘッド・ドリル・ドリル・ボーリング孔の位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ CTG本工設置用ブーケ打入</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ I C T建設機械による施工</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ I C T工事監視用音波測定</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ 現行</td><td></td></tr> </table>	現 行 手 順	現 行 手 順	□ CTG技術実験調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下等高測量(個人成空探針)を用いた成空調査 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地上部地盤改良用リードヘッド・ドリル・ドリル・ボーリング孔の位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 	□ CTG本工設置用ブーケ打入	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 	□ I C T建設機械による施工	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 	□ I C T工事監視用音波測定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 	□ 現行	
現 行 手 順	現 行 手 順											
□ CTG技術実験調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下等高測量(個人成空探針)を用いた成空調査 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地上部地盤改良用リードヘッド・ドリル・ドリル・ボーリング孔の位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 											
□ CTG本工設置用ブーケ打入	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 											
□ I C T建設機械による施工	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認(成空探針)による地盤の確認のための穴開け ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 											
□ I C T工事監視用音波測定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 ■ 地下水・アースカバードの位置確認 											
□ 現行												

(注) I C T工事上での技術的適用検討・検討の範囲は以下の通り。

ICT活用工事計画書 新旧対照表

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定
<p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p>	<p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p>

ICT活用工事計画書 新旧対照表

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行		改 定																								
<p>様式-1①</p> <p>(空中写真測量(無人航空機))</p> <p style="text-align: right;">令和〇年〇月〇日 <u>工 事 名 : ○○○○○○工事</u> <u>受注会社名 : ○○○建設(株)</u></p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 基準点及び工事基準点</td> <td>全点</td> <td>監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 平面線形</td> <td>全延長</td> <td>起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 縦断線形</td> <td>全延長</td> <td>線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 出来形横断面形状</td> <td>全延長</td> <td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3次元設計データ</td> <td>全延長</td> <td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	対象	内容	チェック結果	1) 基準点及び工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか?		2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか?		3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか?		4) 出来形横断面形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか?		5) 3次元設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?		削除
項目	対象	内容	チェック結果																							
1) 基準点及び工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか?																								
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか?																								
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか?																								
4) 出来形横断面形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか?																								
5) 3次元設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?																								

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行			改 定																																									
<p>様式-1②</p> <p>(レーザースキャナー)</p> <p style="text-align: right;">令和〇年〇月〇日 <u>上 事 名</u> : ○○○〇〇〇〇工事 <u>受注会社名</u> : ○○〇建設(株)</p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1) 基準点及び工事基準点</td> <td rowspan="3">全点</td> <td>監督員の指示した基準点を使用しているか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事基準点の名称は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2) 平面線形</td> <td rowspan="4">全延長</td> <td>起終点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化点(線形主要点)の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲線要素の種別・数値は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各測点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3) 縦断線形</td> <td rowspan="3">全延長</td> <td>線形起終点の測点、標高は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦断変化点の測点、標高は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲線要素は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4) 出来形横断面形状</td> <td rowspan="3">全延長</td> <td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準高、幅、法長は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3次元設計データ</td> <td>全延長</td> <td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	対象	内容	チェック結果	1) 基準点及び工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか?		工事基準点の名称は正しいか?		座標は正しいか?		2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか?		変化点(線形主要点)の座標は正しいか?		曲線要素の種別・数値は正しいか?		各測点の座標は正しいか?		3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか?		縦断変化点の測点、標高は正しいか?		曲線要素は正しいか?		4) 出来形横断面形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か?		基準高、幅、法長は正しいか?		出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか?		5) 3次元設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?	
項目	対象	内容	チェック結果																																									
1) 基準点及び工事基準点	全点	監督員の指示した基準点を使用しているか?																																										
		工事基準点の名称は正しいか?																																										
		座標は正しいか?																																										
2) 平面線形	全延長	起終点の座標は正しいか?																																										
		変化点(線形主要点)の座標は正しいか?																																										
		曲線要素の種別・数値は正しいか?																																										
		各測点の座標は正しいか?																																										
3) 縦断線形	全延長	線形起終点の測点、標高は正しいか?																																										
		縦断変化点の測点、標高は正しいか?																																										
		曲線要素は正しいか?																																										
4) 出来形横断面形状	全延長	作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か?																																										
		基準高、幅、法長は正しいか?																																										
		出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか?																																										
5) 3次元設計データ	全延長	入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?																																										

削除

ICT活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																								
	<p style="text-align: center;">参考資料</p> <p style="text-align: center;">設計データチェックシート</p>																								
	<table> <tbody> <tr> <td>参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参考資料-2 2次元設計データチェックシート【Type B】</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>参考資料-6 2次元設計データチェックシート【Type F】</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>参考資料-8 基本規格データチェックシート【Type H】</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>参考資料-9 機械設計データチェックシート【Type I】</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>参考資料-10 現行改定付データチェックシート【Type J】</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>参考資料-11 既存設計データチェックシート</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>参考資料-12 ドリーンで読み取れるデータチェックシート</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】	1	参考資料-2 2次元設計データチェックシート【Type B】	2	参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】	3	参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】	4	参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】	5	参考資料-6 2次元設計データチェックシート【Type F】	6	参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】	7	参考資料-8 基本規格データチェックシート【Type H】	8	参考資料-9 機械設計データチェックシート【Type I】	9	参考資料-10 現行改定付データチェックシート【Type J】	10	参考資料-11 既存設計データチェックシート	11	参考資料-12 ドリーンで読み取れるデータチェックシート	12
参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】	1																								
参考資料-2 2次元設計データチェックシート【Type B】	2																								
参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】	3																								
参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】	4																								
参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】	5																								
参考資料-6 2次元設計データチェックシート【Type F】	6																								
参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】	7																								
参考資料-8 基本規格データチェックシート【Type H】	8																								
参考資料-9 機械設計データチェックシート【Type I】	9																								
参考資料-10 現行改定付データチェックシート【Type J】	10																								
参考資料-11 既存設計データチェックシート	11																								
参考資料-12 ドリーンで読み取れるデータチェックシート	12																								

參考資料

設計データチェックシート

参考資料 1 3次元設計データチェックシート [Type A]	1
参考資料2 3次元設計データチェックシート [Type B]	2
参考資料3 3次元設計データチェックシート [Type C]	3
参考資料4 3次元設計データチェックシート [Type D]	4
参考資料5 3次元設計データチェックシート [Type E]	5
参考資料6 3次元設計データチェックシート [Type F]	6
参考資料7 3次元設計データチェックシート [Type G]	7
参考資料8 3次元設計データチェックシート [Type H]	8
参考資料9 3次元設計データチェックシート [Type I]	9
参考資料10 3次元設計データチェックシート [Type J]	10
参考資料11 3次元設計データチェックシート [Type K]	11
参考資料12 デザインデータを含むデータチェックシート	12

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																							
<p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">参考資料-1 3次元設計データチェックシート [Type-A]</p> <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">(様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <small>令和〇〇年〇〇月〇〇日</small> <small>主 て ま:</small> <small>受 け て ま:</small> <small>作 成 て ま:</small> 〇〇 </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">1) 基準点及び工事基準点</td> <td style="vertical-align: top;">全点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2) 平面投影</td> <td style="vertical-align: top;">全点元</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3) 製作投影</td> <td style="vertical-align: top;">全点表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4) 出来形求査表</td> <td style="vertical-align: top;">各部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・生成した山火災地図面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">5) 3次元表示データ</td> <td style="vertical-align: top;">全点表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px; font-size: small;"> 記1 各チェック実行について、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 記2 結果表示のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“-”と記すこと。 </p>	項目	対象	内容	チェック 結果	1) 基準点及び工事基準点	全点	<ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ 		2) 平面投影	全点元	<ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ 		3) 製作投影	全点表	<ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ 		4) 出来形求査表	各部長	<ul style="list-style-type: none"> ・生成した山火災地図面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ 		5) 3次元表示データ	全点表	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ 	
項目	対象	内容	チェック 結果																					
1) 基準点及び工事基準点	全点	<ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ 																						
2) 平面投影	全点元	<ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ 																						
3) 製作投影	全点表	<ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ 																						
4) 出来形求査表	各部長	<ul style="list-style-type: none"> ・生成した山火災地図面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ 																						
5) 3次元表示データ	全点表	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ 																						

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																							
<p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料 2 3次元設計データチェックシート [Type B] (様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 備考欄 上 事 名 : 及 連 真 名 : 作 成 者 : 年 月 日 : </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th><th style="text-align: center;">対象</th><th style="text-align: center;">内容</th><th style="text-align: center;">チェック 結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 断面設計 工事箇所</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示した高さ等を使用しているか？ - 上部形状の高さ等は正しいか？ - 植栽は正しいか？ - 被妨害の立地位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置の表示・設置は正しいか？ - 垂直度の要件は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 斜面整形</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">3) 断面整形 形状</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">4) 断面形状 測量</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">5) 3次元設計 データ</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各断面形状と1)とする3次元数値データとは となっていいるか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> メモ欄 ① 各チェック欄横について、チェック記入欄に“〇”を記すこと。 ② 計算結果のデータ入力が誤り場合は、チェック結果欄に“×”を記すこと。 </p>	項目	対象	内容	チェック 結果	1) 断面設計 工事箇所	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示した高さ等を使用しているか？ - 上部形状の高さ等は正しいか？ - 植栽は正しいか？ - 被妨害の立地位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置の表示・設置は正しいか？ - 垂直度の要件は正しいか？ 		2) 斜面整形	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ 		3) 断面整形 形状	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ 		4) 断面形状 測量	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ 		5) 3次元設計 データ	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各断面形状と1)とする3次元数値データとは となっていいるか？ 	
項目	対象	内容	チェック 結果																					
1) 断面設計 工事箇所	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示した高さ等を使用しているか？ - 上部形状の高さ等は正しいか？ - 植栽は正しいか？ - 被妨害の立地位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置の表示・設置は正しいか？ - 垂直度の要件は正しいか？ 																						
2) 斜面整形	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ 																						
3) 断面整形 形状	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状の傾斜、植樹位置正しいか？ - 施化率（植樹上葉率）の算積は正しいか？ - 白線位置は正しいか？ 																						
4) 断面形状 測量	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 施工した斜面形状に下限限の側面、裏付適切か？ - 植木配置は正しいか？ 																						
5) 3次元設計 データ	全断面	<ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各断面形状と1)とする3次元数値データとは となっていいるか？ 																						

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																							
<p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料 3：3次元設計データチェックシート [Type 0]</p> <p style="text-align: right;">(様式)</p> <p style="text-align: right; margin-top: -10px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">工 種 名： 委託者名： 作成者： 印</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 15%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 10%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 基準点及び 工具基準点</td> <td>全員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・直角器具の指示した基準点を使用しているか？ ・工具基準点の名前は正しいか？ ・座標に正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 位置投影</td> <td>全員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・既約点の名前は正しいか？ ・変化点（既約点）の名前は正しいか？ ・基准点の名前は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 形状投影</td> <td>全班長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・表面記述式の順番、順序は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 曲面構造の 記録</td> <td>全班長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳した曲面を直角点で固める点、最も近い点は 直角点、例、直線などに直角は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3次元設計 データ</td> <td>全員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合的形状と人力する3次元設 計データ(3D)と合っているか？ </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記入すること。 ※2 記述欄でのデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“-”と記入すること。</p>	項目	対象	内容	チェック 結果	1) 基準点及び 工具基準点	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・直角器具の指示した基準点を使用しているか？ ・工具基準点の名前は正しいか？ ・座標に正しいか？ 		2) 位置投影	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・既約点の名前は正しいか？ ・変化点（既約点）の名前は正しいか？ ・基准点の名前は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ 		3) 形状投影	全班長	<ul style="list-style-type: none"> ・表面記述式の順番、順序は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ 		4) 曲面構造の 記録	全班長	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳した曲面を直角点で固める点、最も近い点は 直角点、例、直線などに直角は正しいか？ 		5) 3次元設計 データ	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合的形状と人力する3次元設 計データ(3D)と合っているか？ 	
項目	対象	内容	チェック 結果																					
1) 基準点及び 工具基準点	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・直角器具の指示した基準点を使用しているか？ ・工具基準点の名前は正しいか？ ・座標に正しいか？ 																						
2) 位置投影	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・既約点の名前は正しいか？ ・変化点（既約点）の名前は正しいか？ ・基准点の名前は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ 																						
3) 形状投影	全班長	<ul style="list-style-type: none"> ・表面記述式の順番、順序は正しいか？ ・直角点の名前は正しいか？ 																						
4) 曲面構造の 記録	全班長	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳した曲面を直角点で固める点、最も近い点は 直角点、例、直線などに直角は正しいか？ 																						
5) 3次元設計 データ	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合的形状と人力する3次元設 計データ(3D)と合っているか？ 																						

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定												
	<p style="text-align: center;">参考資料4 3次元設計データチェックシート (Type-B)</p> <p style="text-align: center;">(様式)</p> <p style="text-align: right;">令和3年3月30日</p> <p style="text-align: right;">工事名: _____</p> <p style="text-align: right;">受注者名: _____</p> <p style="text-align: right;">作成者: _____ 31</p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 5px;">項目</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">質問</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">内容</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">1) 基準三次元 (事務機器)</td> <td style="padding: 5px;">会員</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付書を使用しているか? ・工事監査書の添付はしているか? ・添付は正しいか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2) 3次元設計 データ</td> <td style="padding: 5px;">会員</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査書と当社の3次元設計データは 同一となっているか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※) 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 ※) 該当欄のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。</p>	項目	質問	内容	チェック結果	1) 基準三次元 (事務機器)	会員	<ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付書を使用しているか? ・工事監査書の添付はしているか? ・添付は正しいか? 		2) 3次元設計 データ	会員	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査書と当社の3次元設計データは 同一となっているか? 	
項目	質問	内容	チェック結果										
1) 基準三次元 (事務機器)	会員	<ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付書を使用しているか? ・工事監査書の添付はしているか? ・添付は正しいか? 											
2) 3次元設計 データ	会員	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査書と当社の3次元設計データは 同一となっているか? 											

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																			
<p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料-5 3次元設計データチェックシート [Type-E] (様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和〇〇年〇〇月〇〇日 工 種 名： 施 工 名： 施 工 方：印 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th><th style="text-align: center;">対象</th><th style="text-align: center;">内容</th><th style="text-align: center;">手入力 可能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 基本及び上位規範</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準と異なる）の整理は正しくない？ ・並び順の種別・値段が正しくない？ ・各規範の適用に正しくない？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 施工範囲</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・並び順は正しい？ ・作成した書類が複数ある場合、該当箇所か？ ・基準名、種、深さは正しい？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">3) 基本規範適用区分</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されないか？ ・データは同一となっていないか？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">4) 3次元設計データ</td><td style="text-align: center;">全般</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px; font-size: small;"> 注：各チェックボックスにて、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 また該監査日のデータ入力が最終場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。 </p>	項目	対象	内容	手入力 可能	1) 基本及び上位規範	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準と異なる）の整理は正しくない？ ・並び順の種別・値段が正しくない？ ・各規範の適用に正しくない？ 	○	2) 施工範囲	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・並び順は正しい？ ・作成した書類が複数ある場合、該当箇所か？ ・基準名、種、深さは正しい？ 	○	3) 基本規範適用区分	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されないか？ ・データは同一となっていないか？ 	○	4) 3次元設計データ	全般		○
項目	対象	内容	手入力 可能																	
1) 基本及び上位規範	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準と異なる）の整理は正しくない？ ・並び順の種別・値段が正しくない？ ・各規範の適用に正しくない？ 	○																	
2) 施工範囲	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・技術基準の割合、基準は正しくない？ ・並び順は正しい？ ・作成した書類が複数ある場合、該当箇所か？ ・基準名、種、深さは正しい？ 	○																	
3) 基本規範適用区分	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されないか？ ・データは同一となっていないか？ 	○																	
4) 3次元設計データ	全般		○																	

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																																
<p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料-6 3次元設計データチェックシート [Type-F]</p> <p style="text-align: right;">(様式)</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">工事名:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">実施者名:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">作成者:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 施設記述 計画書等</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記入した箇所が記載しているか？ ・工事記述欄の各項目に記入があるか？ ・記述は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 平面図面</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・変形点（複数・複数）の種類記述正しいか？ ・各端点の座標記述正しいか？ ・複数端点の取扱い、複数点間距離記述正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 斜面図面</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・各頂点の座標記述正しいか？ ・複数頂点の取扱い、複数頂点間距離記述正しいか？ ・複数面積計算式記述正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 断面構成図 面図</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構成図形状の複数、枚数記述正しいか？ ・基準面、軸、断面記述正しいか？ ・接続方法と断面起終点の接続記述正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 土建算出</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・算出は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>6) 3次元設計 データ</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～5) の入力結果が出来形資源対象構造の3次元設計データとなっているか？ (工事企体との相違箇所記述正しいか) </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”を記すこと。 ※2 該当2以上のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。</p>	令和〇〇年〇〇月〇〇日	工事名:	実施者名:	作成者:	印	項目	対象	内容	チェック結果	1) 施設記述 計画書等	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記入した箇所が記載しているか？ ・工事記述欄の各項目に記入があるか？ ・記述は正しいか？ 		2) 平面図面	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・変形点（複数・複数）の種類記述正しいか？ ・各端点の座標記述正しいか？ ・複数端点の取扱い、複数点間距離記述正しいか？ 		3) 斜面図面	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・各頂点の座標記述正しいか？ ・複数頂点の取扱い、複数頂点間距離記述正しいか？ ・複数面積計算式記述正しいか？ 		4) 断面構成図 面図	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構成図形状の複数、枚数記述正しいか？ ・基準面、軸、断面記述正しいか？ ・接続方法と断面起終点の接続記述正しいか？ 		5) 土建算出	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・算出は正しいか？ 		6) 3次元設計 データ	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～5) の入力結果が出来形資源対象構造の3次元設計データとなっているか？ (工事企体との相違箇所記述正しいか) 	
令和〇〇年〇〇月〇〇日																																	
工事名:																																	
実施者名:																																	
作成者:																																	
印																																	
項目	対象	内容	チェック結果																														
1) 施設記述 計画書等	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記入した箇所が記載しているか？ ・工事記述欄の各項目に記入があるか？ ・記述は正しいか？ 																															
2) 平面図面	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・変形点（複数・複数）の種類記述正しいか？ ・各端点の座標記述正しいか？ ・複数端点の取扱い、複数点間距離記述正しいか？ 																															
3) 斜面図面	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・各頂点の座標記述正しいか？ ・複数頂点の取扱い、複数頂点間距離記述正しいか？ ・複数面積計算式記述正しいか？ 																															
4) 断面構成図 面図	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構成図形状の複数、枚数記述正しいか？ ・基準面、軸、断面記述正しいか？ ・接続方法と断面起終点の接続記述正しいか？ 																															
5) 土建算出	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・算出は正しいか？ 																															
6) 3次元設計 データ	企画 企画長	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～5) の入力結果が出来形資源対象構造の3次元設計データとなっているか？ (工事企体との相違箇所記述正しいか) 																															

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
<p style="text-align: right;">参考資料-7 基本設計データチェックシート [Type-A] (様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日 上 申 名： 会 社 名： 作 成 者： 印</p> <p style="text-align: center;">基本設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">文句</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: none;">1) 施設及び 工事実施部</td> <td style="border-top: none;">会社</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ </td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">2) 平面図</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td></td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">3) 施設図</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td></td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">4) 施設断面図 等</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が測定、検査は正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接替断面変化的軸系、底面積が正しいか？ ・蓋板等、壁、床板は正しいか？ ・引出部計数対象点の記入が正しく取りできているか？ </td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※1 各チェック項目について、該当する箇所に“〇”を記すこと。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、サムネイル写真欄に“×”を記すこと。</p>	項目	文句	内容	チェック 結果	1) 施設及び 工事実施部	会社	<ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ 		2) 平面図	会社長			3) 施設図	会社長			4) 施設断面図 等	会社長	<ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が測定、検査は正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接替断面変化的軸系、底面積が正しいか？ ・蓋板等、壁、床板は正しいか？ ・引出部計数対象点の記入が正しく取りできているか？ 		
項目	文句	内容	チェック 結果																		
1) 施設及び 工事実施部	会社	<ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ 																			
2) 平面図	会社長																				
3) 施設図	会社長																				
4) 施設断面図 等	会社長	<ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が測定、検査は正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接替断面変化的軸系、底面積が正しいか？ ・蓋板等、壁、床板は正しいか？ ・引出部計数対象点の記入が正しく取りできているか？ 																			

ICT活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
	<p style="text-align: center;">参考資料-8 基本設計データチェックシート [Type-0]</p> <p style="text-align: center;">(様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">上 事 〔名〕</p> <p style="text-align: right;">監 督 〔名〕</p> <p style="text-align: right;">作 業 〔名〕</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">基本設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">項目</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">対象</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">内容</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1) 施設及び 工事記述</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">全般</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した設備を代表しているか？ ・T字配管の名前は正しいか？ ・定位は正しいか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2) 施設構成</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">実績</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各部品の選択は正しいか？ ・定位は正しいか？ ・各部品の接合は正しいか？ ・断熱材の種類、寸法は正しいか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">3) 施設表示</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">全般及 び各部品</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4) 施設形 状表示</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">実績</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ ・既存施設の表示、形状は正しいか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に「〇」を記入すること。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に「—」と記入すること。</p>	項目	対象	内容	チェック結果	1) 施設及び 工事記述	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した設備を代表しているか？ ・T字配管の名前は正しいか？ ・定位は正しいか？ 		2) 施設構成	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各部品の選択は正しいか？ ・定位は正しいか？ ・各部品の接合は正しいか？ ・断熱材の種類、寸法は正しいか？ 		3) 施設表示	全般及 び各部品	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ 		4) 施設形 状表示	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ ・既存施設の表示、形状は正しいか？ 	
項目	対象	内容	チェック結果																		
1) 施設及び 工事記述	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した設備を代表しているか？ ・T字配管の名前は正しいか？ ・定位は正しいか？ 																			
2) 施設構成	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各部品の選択は正しいか？ ・定位は正しいか？ ・各部品の接合は正しいか？ ・断熱材の種類、寸法は正しいか？ 																			
3) 施設表示	全般及 び各部品	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の位置、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ 																			
4) 施設形 状表示	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示、形状は正しいか？ ・新規施設の表示、形状は正しいか？ ・既存施設の表示、形状は正しいか？ 																			

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定												
	<p style="text-align: center;">参考資料-9 地盤改良設計データチェックシート【Type-A】</p> <p style="text-align: center;">(様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">上 申 名：_____</p> <p style="text-align: right;">会 社 名：_____</p> <p style="text-align: right;">作 成 者：_____ 頁_____</p> <p style="text-align: center;">地盤改良設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">項目</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">対象</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">内容</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1) 平面図</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">全般</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良施工範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2) 施工記</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">全般</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の実施（日）又は機会（月）にありますか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各チェック欄について、チェック結果欄に“〇”と記入すること。 ※2 計算結果のアーティ入力が無い場合は、チェック結果欄に“△”と記入すること。</p>	項目	対象	内容	チェック 結果	1) 平面図	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良施工範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ 		2) 施工記	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の実施（日）又は機会（月）にありますか？ 	
項目	対象	内容	チェック 結果										
1) 平面図	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良施工範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ 											
2) 施工記	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の実施（日）又は機会（月）にありますか？ 											

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定																				
	<p style="text-align: center;">参考資料-10 地盤改良設計データチェックシート [Type-B] (様式)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: right; padding-right: 5px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</td> <td style="width: 90%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 5px;">工事名:</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 5px;">受注者名:</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 5px;">作成者:</td> <td style="text-align: right;">印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">地盤改良設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 80%;">内容</th> <th style="width: 10%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 平面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数点が多角の場合は複数) は正しいか? </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 断面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・改良後矢量の極端な取扱い (左側面底面・改良体底面等の誤差) に対する確認 ・改良層底の凹凸性 (ひし型) </td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (印字) ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (サンドキャッシャンハイドの場合) </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各セルにチェック印について。チェック結果欄に“〇”を記入のこと。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に “ ” を記入のこと。</p>	令和〇〇年〇〇月〇〇日		工事名:		受注者名:		作成者:	印	項目	内容	チェック 結果	1) 平面	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数点が多角の場合は複数) は正しいか? 		2) 断面	<ul style="list-style-type: none"> ・改良後矢量の極端な取扱い (左側面底面・改良体底面等の誤差) に対する確認 ・改良層底の凹凸性 (ひし型) 		3) 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (印字) ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (サンドキャッシャンハイドの場合) 	
令和〇〇年〇〇月〇〇日																					
工事名:																					
受注者名:																					
作成者:	印																				
項目	内容	チェック 結果																			
1) 平面	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数点が多角の場合は複数) は正しいか? 																				
2) 断面	<ul style="list-style-type: none"> ・改良後矢量の極端な取扱い (左側面底面・改良体底面等の誤差) に対する確認 ・改良層底の凹凸性 (ひし型) 																				
3) 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (印字) ・設置データに入力した折線のは、設計範囲と合致しているか? (サンドキャッシャンハイドの場合) 																				

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

現 行	改 定									
	<p style="text-align: center;">参考資料-12 ドレン等設計データチェックシート (様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">上 申 者： 受注者： 作 成 者：</p> <p style="text-align: center;">ドレン等設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 10%;">項目</th> <th style="text-align: center; width: 60%;">内容</th> <th style="text-align: center; width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 平地用</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の右記(左：実現, 右：未達)に該当するか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 斜面用</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の高さが斜面勾配からどの程度大きいか？ ・施工面の位置は正しいか？ </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”を記入すること。 ※2 複数項目のデータ入力がない場合は、チェック結果欄に“×”を記入すること。</p> <p style="text-align: right;">12</p>	項目	内容	チェック 結果	1) 平地用	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の右記(左：実現, 右：未達)に該当するか？ 		2) 斜面用	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の高さが斜面勾配からどの程度大きいか？ ・施工面の位置は正しいか？ 	
項目	内容	チェック 結果								
1) 平地用	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の右記(左：実現, 右：未達)に該当するか？ 									
2) 斜面用	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の高さが斜面勾配からどの程度大きいか？ ・施工面の位置は正しいか？ 									